

新年のご挨拶

2026年1月吉日

ホーモイ代表 田中 隆子

あけましておめでとうございます。

新年早々米国のベネズエラ攻撃に、国際法無視の武力行使ではないか。ロシアと同じ事をして、ウクライナとの仲裁ができるのか？世界が弱肉強食的な社会になれば、恐ろしいことです。『力こそ正義』は誤りです。その中で『米国なき秩序』が進んでいるように思われます。日本としては、国連を生かして、多国間協調の中で米国の利害を抑制し、米国の復元力を引き出すべきです。日本という国の強みは間違いなく『非核平和主義』です。非核平和主義に徹し、優れた科学技術と産業力を持つ国を目指すべきです。米国と一緒にあって軍事力を強化する方向に走るのは誤りです。」と寺島実郎氏は毎日新聞のインタビューで述べています。

わが国では、多くの人々が物価高騰、政治の混迷を苦々しく感じる中で、新しい年を迎えました。女性初の総理が生まれたことへの期待値の高さが強調されますが、自民党の支持率とのギャップは隠しようがなく、国内の政治は大混乱しています。政府は国民の生活の厳しさや、切実な要求に聞く耳を持たず、汚職や不記載、裏金、統一教会との癒着が明らかな議員がのうのうと居座っています。維新はもとより、それにすり寄っていく野党も野党です。過半数の数合わせで野合した政党で事を進めていく。そうして膨れ上がった補正予算が成立しましたが、国民が必要としない部分が多く、逆方向に進んでいるように思われます。これまでの自民一強が崩れ、少数政党も出てきていますが、多くの国民が政治に不信不満を抱いているのが現状です。オールドメディアにも不信感いっぱいです。

女性初の総理に期待値が高い評価ですが、私は男性社会で育ってきた総理に産む性として命を守る分野に力が入っているとは思えません。

また、格差社会において今の形を根本的に変えていく方法は、世界で幸福度ランキング 1 位のフィンランドなど北欧の高福祉高負担、ベーシックインカム・ベーシックサービス（生きるための最低保証）の導入など、国民全体で考える時期が来ているのではないかと思います。

市民の困りごと問題を解決するために、今年度(2026年度)の市民福祉講座は「地域共生社会をめざして」と題して、講演とシンポジウム開催の準備を進めています。

国がある時期「自己責任」「他人に迷惑をかけてはいけない」など必要以上に強調され「助けて」と言いづらい社会になり、「自分だけよければいい」という風潮が蔓延しています。この中で私たちは人間だもの、失敗もあれば迷惑をかけることもある。お互いに許し合う寛容な心を育てたいものです。

どんな人も取り残すことのない地域共生社会を実現したいものです。

今年度も皆さんと共に学びながら、啓発活動・実践活動に励みましょう。
ご協力の程よろしく願いいたします。



*遅ればせながら「新年のご挨拶」をアップします。